

Questions and Answers

on Sabbath

聖書による 安息日問答

Revival Booklet Series No.1



リバイバルシリーズ No.1



SUNRISE MINISTRY

1. 主よ、教えてください。あなたに従う者たちが休むべき特別な日というのがあるのですか。

「わたしは、主の日に御霊に感じた」ヨハネの黙示録 1:10。

2. しかし、どの日が主の日なのですか。

「人の子は安息日の主である」マタイによる福音書 12:8。

3. 一週には七日ありますが、どの日が安息日なのですか。

「安息日を覚えて、これを聖とせよ。... 七日目はあなたの神、主の安息である」出エジプト記 20:8-10。

4. あなたの計算によると七日目は土曜日なのですか、日曜日なのですか。

「さて、安息日が終わったので、マグダラのマリヤとヤコブの母マリヤとサロメとが、行ってイエスに塗るために、香料を買い求めた。そして週の初めの日に、早朝、日の出のころ墓に行った。そして、彼らは『だれが、わたしたちのために、墓の入口から石をころがしてくれるのでしょうか』と話し合っていた。ところが、目をあげて見ると、石はすでにくろがしてあった。この石は非常に大きかった。墓の中にはいると、右手に真白な長い衣を着た若者がすわっているのを見て、非常に驚いた。するとこの若者は言った、『驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレ人イエスを捜しているのであろうが、イエスはよみがえって、ここにはおられない。ごらんなさい、ここがお納めした場所である』マルコによる福音書 16:1-6。

5. しかし、主よ、あなたは安息日も含んで律法を廃されたのではないですか。

「わたしが律法や預言者を廃するためにきた、と思ってはならない。廃するためではなく、成就

するためにきたのである」マタイによる福音書 5:17。

6. 律法を廃することはなさらずともクリスチャンのために律法の一部は変更されたことはございませんか。たとえば、クリスチャンは七日目以外の別な日を守ってもいいとか。

「よく言うておく。天地が滅び行くまでは、律法の一点、一画もすたることはなく、ことごとく全うされるのである」マタイによる福音書 5:18。

7. しかし、土曜日はユダヤ人の日ではないのですか。七日目安息日はユダヤ人のためではないのですか。

「安息日は人のためにあるもので、人が安息日のためにあるのではない」マルコによる福音書 2:27 (安息日はユダヤ人が存在する 1500 年前人類に与えられていた。創世記 2:1-3 を参照)。

8. あなたの弟子たちは十字架後は、七日目安息日を律法に従って守らなくなったと誰かから聞かされたのですが、それは本当ですか。

「この日は準備の日であって、安息日が始まりかけていた。イエスと一緒にガリラヤからきた女たちは、あとについてきて、その墓を見、またイエスのからだが見られる様子を見とどけた。そして帰って、香料と香油とを用意した。それからおきてに従って安息日を休んだ」ルカによる福音書 23:54-56。

9. しかし、使徒パウロは、キリスト初代教会時代、いつも復活を祝って日曜日に集まったのではないですか。礼拝日としてどの日を守っていたのですか。

「パウロは例によって、その会堂には行って、三つの安息日にわたり、聖書に基いて彼らと論じ」使徒行伝 17:2。

10. 使徒パウロは、安息日に異邦人改宗者とも集会を持ちましたか。もしかしたら、ユダヤ人のためには安息日に、異邦人のギリシヤ人のためには日曜日に礼拝に集まったのではないですか。どうですか。

「パウロは安息日ごとに会堂で論じては、ユダヤ人やギリシヤ人の説得に努めた」使徒行伝 18:4。

11. では、使徒パウロは安息日遵守について何と言っていますか。

「こういうわけで、安息日の休みが、神の民のためにまだ残されているのである。なぜなら、神の安息にはいった者は、神がみわざをやめて休まれたように、自分もわざを休んだからである」へブル人への手紙 4:9, 10。

12. 神がみわざを休まれたというのは、使徒パウロはどの日のことを言っているのですか。

「すなわち、聖書のある箇所、七日目のことについて、『神は、七日目にすべてのわざをやめて休まれた』と言われた」ヘブル人への手紙 4:4。

13. これほど安息日を守ることに關しての教えがはっきりしているのですか。

「神のみ旨を皆あますところなく、あなたがたに伝えておいたからである」使徒行伝 20:27（新約聖書には、安息日に関して、少なくとも59回言及されている。使徒行伝にはパウロとその仲間達が宗教的な集まりをしたことに関して安息日のことが84回も記録されている。しかしながら、全聖書で日曜日を守るようにと教えているところは一つのことばもない。）

14. では、なぜ多くの人々は土曜日の代わりに日曜日を守るのですか。聖書では安息日を守るように教えているのに、だれが、どのようなのに日曜日をキリスト教会に取り入れたのですか。

「彼（“小さな角”の権力）は、いと高き者に敵して言葉を出し、かつ、いと高き者の聖徒を悩ます。彼はまた時と律法とを変えようと望む」ダニエル書 7:25。

15. ダニエル書七章の「小さい角」とはローマ・カトリック教会のことを指しているのですが、それが神の律法を変えようとするというのですか。

「万軍の主はこう言われる、律法について祭司たちに尋ねて言え」ハガイ書 2:11。

16. 分かりました。では、カトリックの司祭のステファン・キーナン氏に聞いてみます：あなたの教会は神の律法を変える権威があると思われるのですか。

「もし教会がそのような権威を持っていなかったなら、すべての近代宗教家たちが教会に同意することはないし、また何ら聖書の権威によらずに、第七日目の安息日の遵守を第一日目の日曜

日に取り替えることもできなかつたであろう」 A Doctrinal Catechism (カトリック [公教] 要理、174。

17. この変更はいつなされたのですか。

「われわれは、カトリック教会がラオデキヤ会議 (364A. D.) において儀式を土曜日より日曜日に移したがゆえに、土曜日に代えて日曜日を守るのである」 The Convert's Catechism of Catholic Doctrine, by Peter Geirmann, p50.

(この教理問答は 1910 年 1 月 10 日、法王の祝福を受けた。)

18. プロテスタントの牧師たちはこれに賛同していますか。

合同教会：「たとえどんなに厳格に、あるいは、真剣に日曜日を過ごしたとしても、私たちが安息日を守っていないということは非常に明らかである」 Dr R. W. Dale, "The Ten Commandments"

p106。

メソジスト教会：「Sabbath(安息日)は、ヘブル語で休息を意味し週の第七日目である。... 新約聖書には第一日目に関して何の律法もないことを認めなければならない」Buck's Theological Dictionary。

「幼児洗礼に関する命令がないということは真実である。また、週の第一日目を清く守れという何らかの戒めもない。多くの者はキリストが安息日を変更したと信じている。しかし、主御自身のことばから、彼がそのような目的のために来られたと信じる者たちは、推測のうちにそれを卑しめているにすぎない」Amos Binney, “Theological Compendium” pp180-181。

バプテスト教会：「安息日を守って聖とせよという戒めは過去に存在したし、また存在しているが、しかし、それは日曜日ではない。しかしながら、安息日は週の第七日目から第1日に変更されたと、ある者たちは勝ち誇って、ちゅうちょなく言うだろう。... 私は長年この課題について真剣

に資料を求めて研究してきたが、どこにそのような変更の記録が見られるのかと、私は尋ねたい。新約聖書の中には絶対はない…。もちろん私は、日曜日が初代キリスト教の歴史に採用されなかったことは良く知っている…。しかし、それは異教の焼き印が押されており、太陽神の名がつけられ、背教法王教によって取り入れられ、認可され、プロテスタントによって聖なる遺産として受け継がれてきたことは、まことに遺憾なことである」
Dr. E. T. Hiscox, author of the Baptist Manual.

「カトリック教会は、プロテスタントが存在する一千年前に、教会の神聖な使命によって土曜日から日曜日に変えたのである」 Catholic Mirror, 9-1893。

「勿論、カトリック教会は、その変更は教会のやったことだと主張する。その行為は宗教的なことについての教会の権力と権威のしるしなのである」 C. F. Thomas, Chancellor under Cardinal Gibbons.

19. 私がどの日を守ろうと問題ないのではないのでしょうか。どの日だって同じではないのでしょうか。

「あなたがたは知らないのか。あなたがた自身が、だれかの僕になって服従するなら、あなたがたは自分の服従するその者の僕であって、死に至る罪の僕ともなり、あるいは、義にいたる従順の僕ともなるのである」ローマ人への手紙 6:16。

20. では私はどうしたらいいのでしょうか？神の戒めの安息日を守るべきか、それとも人間の日曜日を守るべきでしょうか。

「これに対して、ペテロをはじめ使徒たちは言った、『人間に従うよりは、神に従うべきである』使徒行伝 5:29。

21. 主よ、日曜日を守ることにに関してあなたは どう思われますか。

「『父または母を敬わなくてもよろしい』と言っ

ている。こうしてあなたがたは自分たちの言い伝えによって、神の言を無にしている。…『この民は、口さきではわたしを敬うが、その心はわたしから遠く離れている。人間のいましめを教えとして教え、無意味にわたしを拝んでいる』 マタイによる福音書 15:6-9。

22. しかし、ほとんどの人は日曜日を守っています。こんなに多くの人が間違えるということがあるのでしょうか。

「狭い門からはいれ。滅びにいたる門は大きく、その道は広い。そして、そこからは行って行く者が多い。命にいたる門は狭く、その道は細い。そして、それを見いだす者が少ない」 マタイによる福音書 7:13, 14 (ノア、ロト、キリストの時代も神に従ったのは少数でした。大多数は滅びの道を選んだ。)

23. だれそれ博士らは非常に賢い方々です。どうして有名な説教者たちは安息日を守らな

いのですか。

「兄弟たちよ。あなたがたが召された時のことを考えてみるがよい。人間的には、知恵のある者が多くはなく、権力のある者も多くはなく、身分の高い者も多くはいない。それなのに神は、知者をおぼろしくするために、この世の愚かな者を選び、強い者をおぼろしくするために、この世の弱い者を選び」コリント人への第一の手紙 1:26、27（キリストの時代の偉い宗教家達も真理を拒んだ。キリストに従ったのは平凡な者たちであった。）

24. しかしイエス様、私はあなたを受け入れたのです。あなたは私の救い主です。あなたは私を受け入れて下さったことを知っています。日曜日を守って安息日を今守っていないからといって亡びることはないでしょう。

「神は、このような無知の時代を、これまでは見過ごしにされていたが、今はどこにおる人でも、みな悔い改めなければならないことを命じておら

れる」使徒行伝 17:30。

25. 主よ、私はあなたを知っています。安息日を破ったからといって私を責められますか。

「『彼を知っている』と言いながら、その戒めを守らない者は、偽り者であって、真理はその人のうちにはない」ヨハネの第一の手紙 2:4。

26. しかし、私は主を愛しています。愛の戒めを守るだけでは不十分ですか。

「もしあなたがたがわたしを愛するならば、わたしのいましめを守るべきである」ヨハネによる福音書 14:15。

26. それは十戒全部のことですか。

「なぜなら、律法をことごとく守ったとしても、その一つの点にでも落ち度があれば、全体を犯したことになるからである」ヤコブの手紙 2:10。

27. では、イエス様に従うよう心がけることにします。それだけでいいでしょう？主よ。

「『彼におる』と言う者は、彼が歩かれたように、その人自身も歩くべきである」。ヨハネの第一の手紙 2:6。

28. 主よ、あなたはどのように歩かれたのですか。あなたの習慣は何だったのですか。

「それからお育ちになったナザレに行き、安息日にいつものように（習慣-欽定訳）会堂にはいり、聖書を朗読しようとして立たれた」ルカによる福音書 4:16。

29. しかし、主よ、それは1900年も前のことでしょう。もしあなたが今日地上においででしたら、土曜日でなく他の日を守られませんか。

「主なるわたしは変ることがない」マラキ書3:6。

「イエス・キリストは、きのうも、きょうも、い

つまでも変ることがない」ヘブル人への手紙
13:8。

30. 私の救いは安息日の命令に服従することと関係があるのですか。

「そして、全き者とされたので、彼に従順であるすべての人に対して、永遠の救の源となり」ヘブル人への手紙 5:9

31. 永遠の命を受けるためには戒めを守ることは絶対に必要なのですか。

「イエスは言われた、『なぜよい事についてわたしに尋ねるのか。よいかたはただひとりだけである。もし命に入りたいと思うなら、いましめを守りなさい』」マタイによる福音書 19:17。

32. しかし主よ、まだどうしても理解できないのですが、どうして第七日に固執なさるのですか。日曜日だって土曜日と同じではな

いのですか。

「神はその第七日を祝福して、これを聖別された。神がこの日に、そのすべての創造のわざを終わって休まれたからである」創世記 2:3

「祝福せよとの命をわたしはうけた、すでに神が祝福されたものを、わたしは変えることができない」民数記 23:20

「主よ、あなたの祝福されるものは長く祝福を受けるからです」歴代志上 17:27。

33. 私にとっては、七日間の1日どの日でもかまわないから安息日として守ればよいと思えるのですが。

「人が見て自分で正しいとする道があり、その終りはついに死にいたる道となるものがある」箴言 16:25。

「霊によって霊のことを解釈するのである。生れながらの人は、神の御霊の賜物を受けいれない。それは彼には愚かなものだからである。また、御

霊によって判断されるべきであるから、彼はそれを理解することができない」コリント人へ第一の手紙 2:13、14。

34. しかし、主よ、主よどうにかならないのですか。信じますと告白するだけでは天国に入れないのですか。

「わたしにむかって『主よ、主よ』と言う者が、みな天国にはいるのではなく、ただ、天にいますわが父の御旨を行う者だけが、はいるのである」マタイによる福音書 7:21。

35. しかし、私は祈ります。

「耳をそむけて律法を聞かない者は、その祈りさえも憎まれる」箴言 28:9。

36. しかし、主よ、あなたの名によって奇跡を行い、病人をいやし、異言を語り、すばらしい多くのことを行っています。彼らは安

息日を守っていません。どうなんですか。

「その日には、多くの者が、わたしにむかって『主よ、主よ、わたしたちはあなたの名によって預言したではありませんか。また、あなたの名によって悪霊を追い出し、あなたの名によって多くの力あるわざを行ったではありませんか』と言うであろう。

そのとき、わたしは彼らにはっきり、こう言おう、『あなたがたを全く知らない。不法を働く者どもよ、行ってしまえ』」マタイによる福音書7:22, 23。

37. 確かに安息日についてはよく分かりました。しかし、安息日に働かなければ困るのです。私は職を失うかもしれませぬ。世に先走りしたくないのです。

「人が全世界をもうけても、自分の命を損したら、なんの得になろうか」マルコによる福音書8:36。

38. 私一人だったらいいのですが、家族のこと

が心配です。家族のものを飢えさせない程度私が安息日に働いたほうがいいのではないですか。

「これらのものはみな、異邦人が切に求めているものである。あなたがたの天の父は、これらのものが、ことごとくあなたがたに必要であることをご存じである。

まず神の国と神の義とを求めなさい。そうすれば、これらのものは、すべて添えて与えられるであろう」マタイによる福音書 6:32, 33。

「わたしは、むかし年若かった時も、年老いた今も、正しい人が捨てられ、あるいはその子孫が食物を請いあるくのを見たことがない」詩篇 37:25。

39. 私の友達は私を笑いあざけるでしょう。

「わたしのために人々があなたがたをののしり、また迫害し、あなたがたに対し偽って様々の悪口を言う時には、あなたがたは、さいわいである。

喜び、よろこべ、天においてあなたがたの受ける報いは大きい。あなたがたより前の預言者たちも、同じように迫害されたのである。」マタイによる福音書 5:11, 12。

「もしこの世があなたがたを憎むならば、あなたがたよりも先にわたしを憎んだことを、知っておくがよい」ヨハネによる福音書 15:18。

40. しかし、自分の家族のものが賛同しない場合はどうしましょう。彼らの反対を押しきった場合、家庭を分裂させかねないと思うのですが。

「わたしよりも父または母を愛する者は、わたしにふさわしくない。わたしよりもむすこや娘を愛する者は、わたしにふさわしくない。また自分の十字架をとってわたしに従ってこない者はわたしにふさわしくない」マタイによる福音書 10:37, 38。

「それと同じように、あなたがたのうちで、自分

の財産をことごとく捨て切るものでなくては、わたしの弟子となることはできない」ルカによる福音書 14:33。

41. 私はこれらの試練には立っていくことができないように思います。私は弱いのです。

「ところが、主が言われた、『わたしの恵みはあなたに対して十分である。わたしの力は弱いところに完全にあらわれる』。それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。だから、わたしはキリストのためならば、弱さと、侮辱と、危機と、迫害と、行き詰まりとに甘んじよう。なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである」コリント人への第二の手紙 12:9, 10。

「わたしを強くして下さるかたによって、何事でもすることができる」ピリピ人への手紙 4:13。

42. では主よ、あなたと戒めに忠実に従えば、

その報いは何ですか。

「よく聞いておくがよい。だれでも神の国のために、家、妻、兄弟、両親、子を捨てた者は、必ずこの時代ではその幾倍もを受け、また、きたるべき世では永遠の生命を受けるのである」ルカによる福音書 18:29, 30。

「いのちの木にあずかる特権を与えられ、また門をとおって都にはいるために、神の戒めを守る者たちは、さいわいである」ヨハネの黙示録 22:14 (欽定訳)。

43. 主よ、私は新しくされたみ国を待ち望んでいます。新天地でも安息日を守るのですか。

『わたしが造ろうとする新しい天と、新しい地がわたしの前にながくとどまるように、あなたの子孫と、あなたの名はながくとどまる』と主は言われる。

『新月ごとに、安息日ごとに、すべての人はわが前に来て礼拝する』と主は言われる」イザヤ書

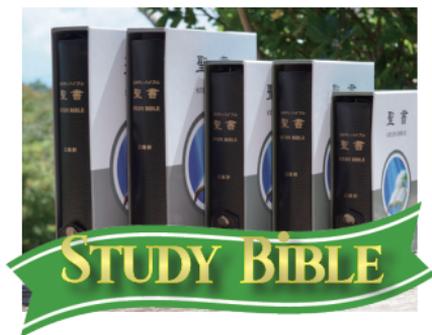
66:22, 23。

44. 主よ、よく分かりました。あなたの御心が天になるように、地にもなさせて下さい。あなたの助けによって安息日を守ります。

「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」マタイによる福音書 25:21。



もっと詳しく研究なされたい方のために...



スタディバイブル

口語訳・注解・
脚注引照付き・地図
チャート・聖句索引

¥8,000～

色はすべて黒で本革を使用

宇宙の謎、地球の謎、人生の謎
に真実の解決を与えるのは聖書だけです。スタディバイブルは
自分で研究できるように編集されています。

お問い合わせ、お申込みは下記の連絡先まで

安息日問答 - リバイバルシリーズ -

※頒布価格 100 円

発行 平成 24 年 1 月 16 日
発行所 サンライズミニストリー
〒 905-0428
沖縄県国頭郡今帰仁村今泊 1471
電話 0980-56-2783
FAX 0980-56-2881
Email info@sunriseministry.com
www.sunriseministry.com



リバイバル小冊子シリーズ

No. 1 安息日問答

No. 2 アピール

No. 3 装身具について

No. 4 狭き道の旅

No. 5 リバイバルと改革

No. 6 神の聖安息日の遵守

No. 7 今

No. 8 終末時代における霊の賜物

No. 9 小さな光と大きな光

No. 10 預言の霊に関する指導原理

No. 11 サタンのわな

No. 12 人類が直面している世界情勢

No. 13 田舎の生活

No. 14 十戒

No. 15 主のぶどう園

No. 16 背教のアルファ

No. 17 終わりの時に備えよ

No. 18 どのようにして安息日を守るのか

No. 19 キリスト論

No. 20 救いの確証

No. 21 もうひとつの箱船

